



憲法の光を  
まもりましょ  
日本共産党北区議会議員  
**さがらとしこ**  
区政レポート

2016.8.18.No.1421.

ご相談はお気軽に  
TEL とも **3905-0970**  
FAX

さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団  
区役所内 3908-7144

# 終戦71周年。戦争、平和かの 歴史的岐路のなかに迎えました。

●8月15日の午前、日本共産党の小池晃書記局長は、新宿駅前までよびかけました。「安倍政権の『海外で戦争する国』づくりを止めるために、立場の違いを超えて力をあわせ、憲法を守り、生かす政治を実現しましょう」と。そして、憲法9条は米国からの押し付けではなく、「平和を求める国民の声、内外の声が生み出したもの。国民の財産です」と語りました。

●安倍政権は、この憲法の平和主義を根底からこわそうとしています。自民党改憲草案では、「国防軍」や「緊急事態条項」を創設すると明記しています。

そのことは、海外での武力行使を無条件に、無限定にできるということだと思えます。改憲のねらい、本丸がここにあるということではないでしょうか。

## 南スダンに自衛隊「殺し殺される」初めのケースになる危険

●小池書記局長は、安保法制=戦争法にもとづいて、自衛隊の任務拡大と武器使用拡大がおこなわれようとしていると指摘しました。



～須賀川市・瑞巖寺～

●シルバーヒア。空家募集2戸。8/22～8/29  
桐ヶ丘1丁目と浮間1丁目。ご相談は、さがらとしこ区議事務所

# 沖縄戦 最後の証言

おじい・おばあが  
米軍基地建設に抵抗する理由  
森住卓



4 「この闘いは、絶対暴力を振るってはいけない。戦争につながる。だから、非暴力で闘う。」

「戦わないうために  
今、闘っている」

●今の沖縄を理解すること。それは、歴史を前にすすめる力にできると思いました。



4 墓参り。隣家に「レイ島ニ於テ戦死ス」とあった。

戦争を起こさないために  
戦争のことをもっと知ろう!

第22回平和のための北区の

# 戦争展

開催日時 8.20 (土) 12:00～19:00  
8.21 (日) 9:30～17:00



入場 8/20(土) 正午～  
無料 8/21(日) 9:30～17:00

北とびあ地下1階の  
展示ホールが会場です。  
●区民による実行委員会を何回もおこないながら、準備されたもの。  
平和の大切さ、尊厳を  
いっしょに語りましょう。

## 夏の行事

- 7月、赤羽台団地では、50回目の団地祭が盛大に。
- 8月、桐ヶ丘N自治会は、建替え移転をひかえて、最後の団地祭を開催しました。これからも、夏の行事が次々と。

8/24(木) 住民の会、午後2時～桐ヶ丘西地集会所



建替工期	～H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
第1～5期	建てかえ事業とは、H28年から始まる										
第6期	6月16日に初めて示された計画内容										

# まちづくりの課題(その2) 今号は、小学校の改築について。

## 桐ヶ丘団地全体建替計画図



## 学校改築改修計画の課題

- 昭和30年代：小学校12校、中学校2校
  - 築58年：昭和33年(1958)：滝野川第5小、荒川小：稲付中(改築へ)
  - 築57年 34 (1959)：王子第3小、稲田小、谷端小
  - 築56年 35 (1960)：滝野川6小、
  - 築55年 36 (1961)：赤羽小、赤羽台西小(開設S37)：田端中
  - 築54年 37 (1962)：なし
  - 築53年 38 (1963)：第3岩淵小、滝野川第4小
  - 築52年 39 (1964)：王子第1小、稲田小
  - 築51年 40 (1965)：王子第5小、第4岩淵小、滝野川第2小、西ヶ原小、田端小(H26、学校統合)
  - 築50年 41 (1966)：王子第2小、豊川小、堀船小、岩淵小、桐ヶ丘郷小(H14、学校統合) 神谷小 浮間小、滝野川小、滝野川第3小

- (1) 文部科学省が平成25年3月に「学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～」を発表。■北区は、学校施設の目標使用年数を65年と定めた。
  - (2) 北区は平成25年7月、区が保有する公共施設の総床面積を今後20年間で、15%削減する「北区公共施設再配置方針」を策定した。
  - (3) その直後の同年11月には、「区立小・中学校改築改修計画(H26～H36)」を発表した。また、現在、「区立学校適正配置計画」に基づき、桐ヶ丘中学校サブファミリー内の桐郷、八幡、赤羽台西、袋の4つの小学校を3校とする案で検討会が開始された。
- 「小・中学校改築改修計画」では、財政状況をふまえ、3つの方向性を打ち出した。
    - 学校施設の集約化・複合化をする。：現在、なでしこ小学校の改築で具体化。
    - 学校施設は改築ではなく長寿命化改修へと転換する。(3) 適正化で減築する。

■昭和36年建設の赤羽台西小は、適正配置の協議終了後に事業化を検討する。としています。

■桐ヶ丘郷小の校舎使用年数が65年ということは、H43年(2031年)です。

■桐ヶ丘団地の第6期事業の完成時期は、H37年(2024年)ですから、桐ヶ丘の6期にわたる建替事業が完了した後もなお、当分の間は郷小の改築はできないことになり、次のような課題が出てきます。

- ① 学校改築用地をどう確保するのか。大規模建替による創出用地に区民センターなど、他の公共公益施設の建設がすすめば、学校改築の土地は確保むつかしくなります。
- ② 児童数500名、特別支援学級や学童クラブがあり、放課後子どもプランもはじまる中で、居ながら改築がやれるのか。その時、旧東小が改築ステーションとして機能するのか。
  - ◆桐ヶ丘団地の建替事業にあわせて、改築用地を確保すべきではないでしょうか。
- ③ 北区では人口増がつつき、区の資料によれば、校舎建設から65年を迎えるH43年ごろの児童数は現在よりも増加すると推計しています。◆児童数増加の中で教育環境を改善し、何よりも安全に学校改築をおこなうためにどうすべきか。真剣な議論が求められます。

● 桐ヶ丘と桐北小の統合の際、都も区も、改築が必要となる際は、建替事業の中と約束しました。